

# シャント拡張術を受けられる (当日入院 3 日)

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

様へ

月日	月 日		月 日			月 日	
経過	当日 (治療前) (入院日)	当日 (治療後)	治療後 1 日目			治療後 2 日目 (退院日)	
目標	○心身共に安定した状態で治療が受けられる	○治療による合併症の出現が最小限である ○シャントの血流が改善する ○治療後の安静が守られる ○治療後の苦痛が最小限である	○安定した透析を受けることができる			○退院後の生活上の注意点が言える	
検査	・身長、体重測定 ・血液透析 (必要日)						
食事	★治療後より食事再開						
	 飲水は終日可能 朝食は自宅で	★ 					
処置	リストバンドを装着します (退院日まで)						・退院時にリストバンドを外します
	・点滴の管を留置します  時間になれば、看護師が治療室にご案内します	→ 点滴終了後抜去します	 穿刺部、シャントの観察を行います				
 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります							
注射・内服	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください		 以下の点滴を行います ・抗菌薬				
	 制限はありません	 歩行できます (シャント肢は安静です)		 制限はありません			 朝食後又は透析後退院です
行動	 以下の治療準備をします ・検査着に着替え ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し						
説明	 医師より (外来又は入院時) ・治療計画について	 医師より ・治療結果について		 医師より ・退院後の治療計画、療養上の留意点について			
	 看護師より ・入院生活について (パスシートを使用) ・治療について	 看護師より ・治療後の注意点について		 看護師より ・退院後の療養生活について (退院療養計画書をお渡しします)			
	 薬剤師より ・持参薬確認 ・使用薬剤について						

\* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください 17-T82-2 2019.10.3 版 京都第一赤十字病院  
 \* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。  
 \* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。